



## 「スワッグづくり」と「押し花のフローティングフレーム」の体験会を実施しました



12月8日、札幌市民交流プラザで体験会「ナチュラルなクリスマスのスワッグづくり」を開催しました。会場内が針葉樹の良い香りで包まれる中、講師の土井めぐみさんから丁寧にスワッグの作り方を教えていただきました。花材の一部は、登録団体「ゆめガーデンサポートーズ」から提供していただいた「ハイビヤクシン」を使用しました。参加者からは「花材が豊富で、センスが良かった」と喜ばれました。また、7月8日に実施した「さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム2022」の上映会を同時開催し「植栽や花の知識が得られました」等の感想をいただきました。



12月16日、札幌市民交流プラザで体験会「押し花のフローティングフレームづくり」を開催し28名が参加しました。オンラインでも同時に参加者を募り、20名が自宅での体験を楽しみました。「きれいな押し花がたくさん使えて嬉しい」「他の方の作品を見られてとても楽しかった」と好評でした。

タウンガーデナーの有志には、準備会でのフレーム試作、材料準備、当日の会場準備と片付け、参加者へのアドバイスなどでご協力いただきました。応援スタッフのみなさん、また、押し花をご提供くださった「押し花つくり隊」のみなさん、ありがとうございました。



アジサイの枝を使って、剪定する場所を教わりました



## Report 技術指導講師派遣を行ってきました

南区



派遣先：芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会

講 師：熊木 真智恵さん (Gee's Green Garden 代表)  
子育て中の方や仕事をしている方も育てやすい宿根草について学ぼうと、地域の方を招いて講習会「あなたも宿根草をそだててみませんか?」を行いました。団体の会員が18名、地域の方が12名参加しました。講師の熊木さんからは、ネペタやアスターなどの苗見本を用いて、はじめての方が育てやすい宿根草について、体験談を交えながらわかりやすく解説いただきました。お帰りの際に、熊木さんお手製の写真入りネームプレートがついたクロッカスとチューリップの球根がお土産に渡されました。

## Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2022年12月31日現在

さっぽろタウンガーデナー (295名)					
中央区	55名	北 区	41名	東 区	28名
白石区	24名				
厚別区	23名	豊平区	38名	清田区	13名
西 区	21名	手稲区	23名	その他	9名

花と緑のボランティア団体 (全33団体)

新たに仲間になりました!  
新規登録  
タウンガーデナー9名

### 登録更新の手続きはお済みですか?

さっぽろタウンガーデナー、花と緑のボランティア団体の登録期間は1年間(1月~12月)です。タウンガーデナーは「年間活動報告書」、団体は「登録更新申請書」の提出をもって登録継続となります。継続希望の方で未提出の方は、更新書類を提出くださいますようお願いいたします。

### 編集後記

真っ白な雪景色の中、昨年開催されたガーデンフェスタ北海道を懐かしく思い出しています。すでに花や緑が恋しいですが、3月には春に向けてちょっと楽しいイベントを予定しています。ぜひご参加下さい。(武田司)  
昨年の活動報告書を楽しく読ませていただいている。自宅や地域の活動場所で種まきをしている方の活動が年々レベルアップしていく驚いています。(齋藤)

発行・編集  
さっぽろ花と緑のネットワーク事務局  
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階  
(公財)札幌市公園緑化協会内  
WEB: <https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>  
TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577  
E-mail: [flowers@sapporo-park.or.jp](mailto:flowers@sapporo-park.or.jp)  
主催 札幌市建設局みどりの推進部



# 花と緑のネットワーク通信

大寒の文字通り、寒さが厳しい頃となりました。冬の間に、来シーズンの計画を立てている方もいらっしゃるでしょうか。今回は、主催事業のご報告、イベントの告知、さっぽろタウンガーデナーや登録団体のみなさんの活動の様子などをご紹介します。



## 「花や緑を使ったオブジェ」を考えるワークショップを実施しました



2022年11月25日に札幌国際大学にて、大学生とさっぽろタウンガーデナーで3月3日に制作する「花や緑を使ったオブジェ」を考えるワークショップを行いました。

三石 浩司さん((有)コテージガーデン)をファシリテーターに迎え、滝野すずらん丘陵公園などの実績を交えた事例をご紹介いただいた後、「思わず足を止めて写真を撮りたくなる、若い世代の目に留まる展示」をコンセプトに、各班でアイデアを出し合いました。学生から次々に出される発想やイラストを用いた説明を熱心に聞いたり、花



## さっぽろ花と緑のネットワークイベント予告

### ■園芸道具のメンテナンス講習会

(無料・要申込)

2月21日(火) ①10:00 ~ 12:00  
②13:30 ~ 15:30

剪定ハサミなどの道具類の手入れ方法を学んで、来シーズンに備えませんか。

場所: 豊平公園 講義室

講師: 鮫島 宗俊 (札幌市公園緑化協会 職員)

募集: 各回10名(先着順)

の知識を教えたりするタウンガーデナーさんの姿が見られました。3月という開催時期から「旅立ち」、「卒業」などのキーワードや春を思わせるピンク、黄色、白などのイメージカラーがあがり、三石さんからのアドバイスに耳を傾けながら、内容を膨らませて行きます。最後は班ごとにまとめた意見を発表しました。どの班からも個性あふれる意見が出たこと、参加者のコミュニケーション能力の高さに驚かされたという三石さんのお話が印象的でした。みなからいただいたアイデアを基に、3月3日の「オブジェのライブ制作」に向か話し合いを進めています。楽しみにお待ちください。



ワークショップの前には、花と緑のEGG(エッグ)代表の堀さんの案内でイネーブルガーデンを見学しました。ガーデンは終了していましたが、学生の実習で使用しているようすや450株からなるラベンダーの管理などについて教えていただきました。近隣の幼稚園と協同で取り組んでいるキノコ栽培のようすも見学させていただきました。まだ木からなめこが生えている様子には、一同から思わず「わあ。」と歎声が上がりました。ご案内いただき、ありがとうございました。



### ■学生協同 花や緑を使ったオブジェのライブ制作と春のクラフト体験会

(入場無料・一部有料)

3月3日(金) 10:00 ~ 15:30

場所: 札幌市民交流プラザ SCARTSモールA・B  
札幌国際大学学生とさっぽろタウンガーデナーでオブジェのライブ制作をします。

午前 ■花や緑を使ったオブジェのライブ制作

午後 ■オブジェの展示■春のクラフト体験会

## 札幌市役所本庁舎前コンテナガーデンづくりに参加して下さった皆さん、ありがとうございました

谷口講師からひとこと

講師：谷口 澄子さん  
期間：2017年度から2022年度



2010年度から13年間、花と緑のネットワークの事業として行ってきた札幌市役所本庁舎前コンテナガーデンづくりが、2022年度で終了します。延べ人数210人のタウンガーデナーの方々が、コンテナガーデンづくりでおもてなしをしてくださいました。ビル風の影響など街なかならではの環境に合う植物選びにはじまり、花がらつみや切り戻しなど基本的な園芸技術を学びました。

自宅の庭と公共の場の違いを学ぶ体験実習の場となりました。2年以上継続して参加された方は、自ずと班の中でリーダーの役割を担いました。市役所本庁舎前で学んだことをぜひ、みなさんのまちづくり活動にご活用ください。

▼2010年春、  
このチラシから  
スタートしました

### 西職員からひとこと



熱心に活動され「おもてなしコンテナ」でまちを彩ってくださった参加者のみなさま、ありがとうございました。  
(2011年度～2014年度担当)



2021年度



2022年度



個性的なニューサイランが人目を惹きました

失敗も良い経験になりました

### 2022年度の主な活動

5月～百合が原公園でデザイン講習会と苗選び。

6月～苗植え会。7月～メンテナンス講習会、白い恋人パーク見学会。8月～補植。10月～片付け、振り返り会。

植えた後の植物の生長を考慮して、1コンテナの苗数を18株程度に厳選しました。6月に植えた植物のほとんどが10月末まで残り、わずかな補植で最後まで管理できました。メンテナンスの実習では他の班の方と協力し合う姿が見られ、植物やお互いの活動についての情報交換の場にもなりました。



はじめにタウンガーデナー担当者に「有難う御座いました。」と感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして市役所コンテナ花壇にて勉強されました皆様に感謝です。回を重ねる度に植物と向き合いう姿勢が向上。昨年は、店頭にて実際の花選び、シミュレーションができました。待ち望んでいた事が形になりとても良かったと思います。今回突然の打ち切りに心が痛みますが、今迄学んだ事を記憶の中から、記録の中から呼び起こし次のステージに繋げて戴けましたら幸いです。長きに渡り参加して下さいました市役所ガーデナーの皆様、金メダル級の植栽にブランボー！！



### 年間活動報告書からご紹介



清田区 Oさん



勤務先の小学校のクラブ活動「園芸クラブ」で園芸指導を行っています。子どもができるガーデニングで一番人気は意外なことに「落ち葉たい肥作り」でした。子どもたちは、「50回踏んでから土を落ち葉が見えなくなるくらい入れ、また50回踏む」をくり返すところがおもしろいようで人気です。(50回というのは私のオリジナルの回数)去年温室に落ち葉たい肥を多めに入れたところ、教材のヘチマ、ひょうたんが過去イチの実りとなりました。これはうれしかったですねー。花や野菜の栽培には土作りが重要であることを実感します。



AMA サポーターズ俱楽部 走川さん

東区の小学校は、総合的な学習の時間で「アマとホップのフラワー ロード」を学んでいます。「詳しい人に話を聞きたい」と生徒たちから声が上がり、5月に出前授業を行いました。AMA サポーターズ俱楽部の成り立ちや、なぜアマとホップなのかを東区の歴史と絡めてお話をした後、校庭に出てみんなで種まきをしました。



▶校庭でアマの種まきをする小学生



豊平区 Oさん

地域の中学校花壇でPTAの環境委員と共に活動しています。3年ぶり?のPTA活動だったせいか、皆さん熱心に積極的に動いてくれました。ラベンダーの剪定やアジサイの植え替えなど、一人での活動では手が回らなかった箇所にも手を入れることができました。夏休み中の水やりも委員一人一人が花壇を気にかけて様子を見に行ったり、LINEで花壇の様子を報告しあって協力することができました。



報告しあって協力することができます。

◀シロタエギクは4～5年冬越ししてるものを使っています

### ハーブの小径を愛する会

石山緑小学校3年生の総合的な学習の時間で「ハーブの小径探検隊」の活動が6～7月に3回行われ、生徒はハーブの小径の植物や川の生き物、水車などを題材に現地を訪れて観察、調査を行いました。「ハーブの小径を愛する会」のみなさんは、生徒たちに小径の案内をし、質問に答えて協力しました。そ



の後の授業で生徒たちが調べたことをまとめ、会のみなさんを招いて「ハーブの小径探検隊」の発表会が行われました。

▲後日、生徒さんが小径のボランティアに参加し、メンバー大喜びでした



### 南区のOさん

普通に植えると優に1mを超えるヒマワリの種を今回は一度ポットに種まきして育て、高さを抑えるため一鉢に複数本を移植してみました。2本は40～50cmまで大きくなりましたが、他は20cm程度に抑えることができました。ラッキーなことに、背の低い花から10数個の種を採取することができました。



▲ヒマワリを小さく育てるに成功！

豊平区のIさん

私の農園で花を植え始めて10年ほどになります。ここ数年、ご近所さんでも植える農園が増えて、ちょっとうれしい気分です。



### 表彰 第45回ます花壇優良制作者として表彰されました～ときめき俱楽部～

中央区

登録団体「ときめき俱楽部」は、斗南病院から苗や肥料等、札幌市からは花苗の提供を受け、斗南病院の周りの街路ます花壇の維持・管理を行っています。この度、活動場所が花壇造成による道路景観の美化に大きな貢献があったとのことで、優良制作者として札幌市長より表彰されました。花壇は10面あり、病院を訪れる方が癒されたり、元気が出るような植栽を心掛けています。今回の受賞を励みに、今後もよりよい花壇をめざして活動していきます。

